

## 令和元年度 公益財団法人納税協会連合会会長賞

### 観光と税

檜原学院高等学校 二年 宇井 穂

「海外旅行へ行く」とき、私たちが納める税金が『国際観光旅客税』である。今年の一  
月七日に『観光税』が導入されることを、私はニュースで知ったのだった。

『観光税』は船舶・航空会社のチケット代に含まれる、間接税のことだ。ニュースを見  
て思ったのは、日本を出国する人が納める税金が何のために使われるのか、ということだ  
った。調べてみると「観光を快適にする」「観光情報の収集を便利にする」ために使われる  
ということらしい。

今、駅へ行けば案内表示は英語だけでなく、中国語や韓国語でも書かれている。空港に  
は、イスラム教徒のための礼拝堂がつくられている所もある。外国人が訪れやすい日本は、  
観光大国だと思う。少子高齢化が進む日本で観光資源を活用することは、経済発達におい  
て欠かせない。そんな観光業をさらに魅力的にするのが『観光税』だ。

新しくできた『観光税』に対して、「どうして納めなければならないのか」と不満を持つ  
人もいるかもしれない。しかし私は、『観光税』にはメリットがたくさんあると思う。文化  
財の案内の多言語化や、Wi-Fiの整備など、観光に関係した資金になるという目的が明確だ  
と思うからだ。また、外国人観光客が帰国するときこの税金は納められるので、さらに  
観光業が発展すると、比例して税収も増える。税金の使い道について知名度が上がり、日  
本人の観光業への関心が高まれば良いと私は思う。大切なのは、他の種類の税についても、  
納税者が「明確な税の使い道」を知っていくことだと思う。

このように、税によってさらに素敵になった日本を世界に知ってもらい、日本の良さを  
アピールすることは、この先にある重大イベントにもつながるだろう。それは、東京オリ  
ンピックである。この大会をきっかけに、日本のことを知ってもらい、日本を楽しんでも  
らうためにも、国民の協力は欠かせないと思う。オリンピック成功と、さらなる経済発展  
を支える原点は、観光の活気にあるだろう。

十七歳の私が納めている税は、主に消費税だが、成人して社会に出ると、さまざまな税  
を納めることになる。その税は、私たちの安全や日常を守るためにある。税金の制度がな  
い社会で生きることはできない。しかし、税を納めるということは、私たちの福祉を十分  
にすることだけでなく、日本の良さを世界に伝える根源になるのである。私は『観光税』  
について考えることで、税金に対しての印象が少し変わった。それは、税が「日常生活を  
守る」という役割だけでなく、「日本を魅力的にする」という役割を持っているということ  
だ。

こうして私は、「税金は大切なんだ」とあらためて思った。